

地域おこし協力隊の活動日記

飛騨市内で活動している地域おこし協力隊員
市内に存在するさまざまな地域資源を活用し、地域の特徴を活かした産業の創出を図ります



地域おこし協力隊の活動内容紹介
～山之村での生活～

隊員 前原 融

飛騨市の皆様、こんにちは！

山之村の夏の過ごしやすさにびっくりしております、地域おこし協力隊の前原です。

前回の記事ではわらび粉についてのお話をさせて頂きましたが、今回は、地域おこし協力隊に任命された5月から8月までの活動内容と山之村での生活について紹介しようと思います。

前回の記事で「わらび粉生産が可能な季節は限られている」と書かせて頂きました。

実はわらび粉は秋（と春）しか生産できません。この説明では、「そんな作物でビジネスとして成立するのか？」と疑問をお持ちの方も多いと思います。私的な見解ですが、『わらび粉生産だけで一年間に必要な所得を稼ぐこと』は現段階では不可能だと考えています。しかし、『わらび粉生産を主軸として、わらび粉生産が出来ない時期は地域の人手が足りていない産業で働きながら生活を組み立てていくこと』はできるのではないかと感じています。

現在、山之村ではホウレンソウ、トウモロコシ、トマト等を代表とする農業や、山之村牧場、山之村キャンプ場などの観光業が主な産業として挙げられますが、どこも人手が足りているとは言えない状態であると感じました。実際、5月からこの原稿を書いている8月まで様々な方に声をかけて頂き、忙しく充実した毎日を送らせて頂いております。

例えば、ホウレンソウの朝刈り（清水農園さん）、ホウレンソウの出荷作業（なかだファームさん、清水農園さん）

トウモロコシ・トマトの苗植作業・トウモロコシの収穫・出荷準備作業（石橋自然農園さん）、また、山之村牧場で長期休暇期間に行う野外イベントやレストランの補助などもやらせて頂きました。

ホウレンソウの朝刈りは朝五時半から始まります。手伝い始めた頃は、朝起きるのはしんどかったですが、今では目覚ましのアラームが鳴る前に起きられるようになりました。また、ホウレンソウの出荷作業のお手伝いでは、パートの皆さんと楽しく会話をしながら仕事をさせてもらっています。会話の中で飛騨弁が出てくると、そのまま飛騨弁講座が始まったり、山之村の行事の事などを教えて頂いたり、ただ働くだけでなく、様々な話が聞ける貴重な機会でもあると感じています。

いよいよ10月からはわらび粉の作業が始まります。体調に気をつけながらがんばります！



◀ ホウレンソウの出荷作業の様子



救急外来を利用されたことはありますか？

市民病院では、休日や夜間に救急医療を必要とされている方のために、救急外来を設置しています。市民の皆様が急な病気やケガをされた際に病状に応じて応急処置を施すために医師、看護師が常駐し対応しています。従って、例えば「昼間は用事があるから」とか「時間外の方が空いていて待ち時間が少なくて済むから」といった理由で救急外来を利用することは、本来の利用方法ではありません。通常の外来を受診してください。

救急外来受診を希望される場合、出来るだけ事前に電話でお問い合わせ下さい。そうして頂くことで、日当直医が診療可能であるかの判断や、必要な準備

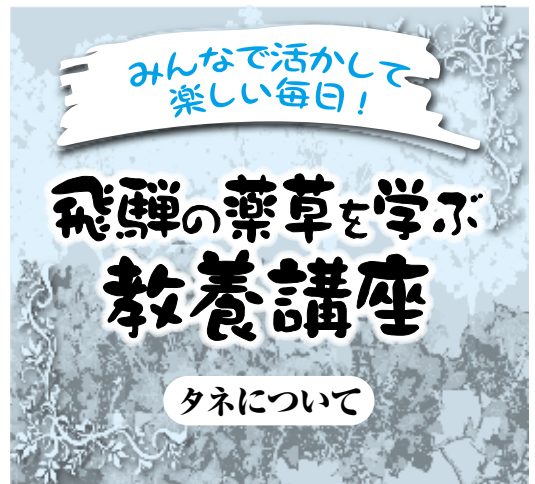
を行うことで来院時のスムーズな対応が可能となります。

一方で診療時の順番は通常の外来とは異なり、状態の緊急性に応じて変わることがあります。医師の判断により緊急性が低いと判断された場合は、お待ちいただくこともありますのでご理解とご協力をお願いいたします。

また、救急外来にお越しになる患者さんの中に「何日も前から具合が悪くて…」と言われる方がみえますが、救急外来では限られた検査や処置しか受けられない場合が多く、かつ時間外で診療費がかさむ事になります。救急外来では医師一人が診療を行います。通常の時間内診療であれば専門科受診が可能であったり、複数の医師による迅速な治療が行えたり、他機関への紹介なども一層スムーズとなります。身体の変調を感じたら早めの受診をお勧めします。

受診の際には、受診に至る経緯や現在治療中の病気、過去にかかった病気、かかりつけ医の有無の確認を必ず行います。特に「お薬手帳」があれば準備していただくようお願いいたします。

これからも人的に限られた体制で地域の救急医療を担って行くために、市民の皆さんのご協力をお願いします。



タネについて

普段食べている野菜、果物のタネはどうしていますか？タネには本来、自分の子孫を残すために、ビタミンやミネラルなど豊富な栄養が蓄えられています。これを食べない手はありません。これまで捨てていたものに栄養がある。今回はタネ特集です。

●カボチャのタネ

煎って食べるか煎じて服用すると利尿、血圧の調整、糖尿病、視力減退と様々な効果があります。とある国ではコンビニにナッツのように販売してありました。これは、カボチャのタネの持つ駆虫作用を期待しているそうです。

●モモのタネ

シーズンの美味しいモモの実を食べたら、タネの核を割って中の種子を食べてください。血液循環を改善し、血液をきれいにし、排膿などの働きがあります。これは桃仁と言って、重要な漢方薬にもなっています。

●スイカのタネ

タネを煎って食べるか煎じて服用すると、腎臓病、浮腫、便秘などに効果があります。スイカ自体も腎臓や水分代謝によい働きがありますが、タネも同様の働きがあります。

●カキのタネ

村上先生が実験した中で最も多くのミネラルが含まれていたという種子がカキのタネです。黒焼にして服用すると、骨粗しょう症を改善し、認知症予防になるので、今年の秋はぜひカキのタネをたくさん採取して黒焼を作ってストックし、毎日飲みましょう。

ここに挙げた4つだけでもこんなにすごい効能がありますね。

今まで捨てていた方はぜひ積極的に食べてみてください。



(村上光太郎「薬草を食べる」より)



飛騨市ホームページでもお知らせしています

飛騨市ホームページ <http://www.city.hida.gifu.jp/>

携帯サイト <http://www.city.hida.gifu.jp/mobile/>



8月31日現在(敬称略)

ご結婚

お名前 住所

竹川 恒平 古川町向町三丁目
岡田 ゆいか 古川町幸栄町

小林 亮 高山市
板屋 綾美 河合町角川

石原 慎也 古川町中野
佐藤 茜 高山市

堀 寛 山県市
寺林 知祥 古川町貴船町

山下 譲太 富山町祢宜ヶ沢上
有澤 ひろみ 富山市

お誕生

お名前 住所 保護者

北野 玄紫 杉崎 琢也・江里子
登田 晃生 谷 勝也・ゆかり

天木 彩琶 黒内 伸吾・恵理香

森下 瑛斗 山田(上山田6) 克哉・菜々香
今田 萌々果 坂富町(坂富3) 公基・恵

谷口 桜月 吉田(吉田下) 直外・尊子
川上 岳叶 殿(わかば台) 晃・愛

お悔み

お名前 住所 年齢

草壁 晴男 杉崎 (88)
横江 きみ子 式之町 (99)
杜下 貞夫 谷 (82)
蒲 朝香 杉崎 (77)
忍 やゑ 三之町 (96)
木下 善昭 上町 (69)

ご寄付

次の方々から温かいご寄付をいただきました。

〔自然公園整備事業〕

水芭蕉とふるさとを歌う実行委員会 様

金 三万五千元

〔飛騨市民病院へ〕

那須 忠利 様(神岡町) 金 十万円
匿名 様(神岡町) 金 十万円
匿名 様(神岡町) 金 三万円

〔図書館〕

高木 秋憲 様(愛知県) 図書 4冊

佐藤 智英 大野町 (29)
山下 文男 中野 (73)
上嶋 チョ 新栄町 (97)
関守 一彦 幸栄町 (72)
坪田 甚六 杉崎 (86)
中田 清 谷 (73)
倉坪 晃一 末広町 (78)
善名 作二 向町三丁目 (71)
池田 輝久 黒内 (89)
谷倉 尋美 杉崎 (53)
〔河合町〕 角川 元田 (101)
政井 ジツ 立石 ヤス (91)
〔宮川町〕 谷口 正昭 林 落合 (60)
岩佐 久人 (67)
〔神岡町〕 眞鍋 尚子 館野町(弥生1) (56)
和仁 秀利 館野町(下麻生野) (67)
上 義孝 朝浦(上朝浦) (84)
前川 きみゑ 坂富町(坂富2(中)) (88)
田中 つた 殿(森下町) (93)
谷口 竹夫 丸山 (82)
和田 チズ子 伏方(伏方4) (94)
室屋 ハナ 坂富町(和泉町) (96)
上山 吉男 館野町(弥生1) (88)

〔ふるさと応援寄付金〕(7月1日～7月31日)

宇野 健藏 様(京都府) 金 三万円
山根 一将 様(愛知県) 金 一万円
岡安 裕司 様(愛知県) 金 一万円
小島 隆太 様(大阪府) 金 三万円
長野 巧 様(兵庫県) 金 一万円
前川 陽子 様(大阪府) 金 一万円
日高 亮子 様(大阪府) 金 一万円
岡本 晃 様(愛知県) 金 一万円
南端 理伸 様(兵庫県) 金 一万円
松永 大吾 様(長野県) 金 二万円
黒田 正秀 様(愛知県) 金 一万円
立花 明子 様(兵庫県) 金 一万円
吉村 健二 様(東京都) 金 一万円
鈴木 宗勝 様(愛知県) 金 五万円
山田 暁史 様(神奈川県) 金 一万円
古橋 智保 様(神奈川県) 金 二万円
青柳 陽一郎 様(愛知県) 金 一万円
伊藤 賢司 様(群馬県) 金 一万円
櫻井 茂樹 様(東京都) 金 五万円
高田 雅史 様(広島県) 金 一万円

平成二十八年熊本地震災害義援金

(8月1日～8月31日) ※受付順

飛騨市職員親睦会 様 金 十四万八千円
宮川町中央振興会 様(宮川町) 金 四万三千二百七十七円
かな森 様(古川町) 金 三万三千六百四十四円

『交通安全俳句』

秋桜 手を繋ぎ合ふ 子の笑顔

飛騨神岡高校3年 荒木 健裕さん

〔解釈〕

路肩にコスモスが咲く路を、姉が弟の手を引いて歩いている。満面の笑顔で。小さな手が小さな命を守っている。そんな情景が伝わる句です。大人は、社会は、小さな命を守っていかなければなりません。

飛騨警察署交通課長



岐阜県立飛騨神岡高等学校

飛騨神岡高校文化祭“白樺祭”を開催!



飛騨神岡高校の多くの生徒が1年間で最も大切にしている生徒会行事が本校の文化祭“白樺祭”です。記念すべき第20回白樺祭のテーマは「鼓(つづみ)」。

飛騨神の生徒全員が響きあい、鼓動あふれる文化の香り高い白樺祭にするという想いが込められています。テーマは春先に全校生徒から募集し、生徒会と白樺祭実行委員によって選ばれ5月の生徒総会で発表されました。白樺祭では原則1・2年生はクラスごとに製作物を展示、3年生はステージで劇を行います。また、部活動や委員会などの展示や体験、全校イベントではのど自慢大会やクラス対抗俳句・短歌コンテストなど盛りだくさん。今年は創立20周年を記念して1日目のオープニングで白樺の植樹セレモニーも計画されています。白樺祭は下記の日程で2日間にわたり開催され一般公開されます。

皆さんのお越しをお待ちしています。

昨年度の白樺祭の様子



白樺祭 20th

10月13日(木) [一般公開8:40~14:45]

20周年記念植樹・のど自慢・劇他

10月14日(金) [一般公開8:40~13:50]

願いを込めたメッセージ風船飛ばし・劇他

両日ともクラスや部活・委員会などの展示及び育友会によるバザー(うどん・カレー他)を行います。

公開時間や内容は変更になる場合があります。日程その他の詳細は後日、本校ホームページに掲載します。



第11回全国高校生短歌大会『短歌甲子園2016』出場!

石川啄木生誕の地、盛岡市で「短歌甲子園」として全国高校生短歌大会が8月17日~19日まで開催されました。今年は全国から予選を勝ち抜いた36校が出場し、本校は10大会連続で出場を果たしました。18日の予選リーグで本校は2試合を3-0で圧勝し、翌19日の決勝トーナメントへコマを進めました。

決勝トーナメントでは強豪校の福岡女学院高校に2-3で惜しくも敗退(福岡女学院は優勝)しましたが、リーダーの波岡梨乃さん(3年神岡中出身)が「話題特別賞」を受賞しました。

出場したのは波岡さん他、森夢加さん(3年萩原北中出身)、小木曾都さん(1年清見中出身)、濱本蔵人くん(1年国府中出身)の4名。

「話題作品賞」を受賞した波岡さんの歌

ジャンケンで負けて生まれた偶然の巡り合わせに夏風が吹く



夢 中高生の夢を育む のたまご塾 夏セミナー2016開催

8月4日（木）～7日（日） 神岡町内

各界の第一線の研究者らを講師に招き、中高生が3泊4日で学ぶ「夢のたまご塾」飛騨アカデミー2016夏セミナーが行われました。今回は、県内外の中高校生の男女 19 人が参加しました。

開講にあたり、東北大学理事の伊藤貞嘉教授が専門である高血圧や腎臓の機能など研究について講演され、「自分の町や仕事、仲間に誇りを持つことが大切。世界中に多くの仲間を作り、グローバルに活躍しよう」と激励しました。

県外からの参加者は、「初めてのセミナーで緊張している。友達をたくさんつくりたい」と語っていました。



伊藤教授の講演を聞く参加者

高 今後の進路選択などに役立てる 高校生が宇宙線研究所大学院生と座談会

8月1日（月） 飛騨神岡高等学校

大学進学を希望する生徒たちに今後の進路選択に役立てようと、「東京大学院生から学ぼう！夏季座談会」が飛騨神岡高校で開かれました。

この日は、東京大学宇宙線研究所で活躍する同大学大学院生2人を招き、飛騨神岡高校2・3年生 14 人が参加し、受験の方法や大学院での生活など、貴重な体験談を聞きました。

参加した生徒は「自分がやりたいことに進むことが大切だと分かりました。進路について考える良い機会になりました」と話していました。



大学院生と意見を交換する高校生

浴 色和衣イベントでファッションショー 衣姿で町を色とりどりに染める

8月5日（金） 円光寺

古川の町に魅せられた有志たちによるイベント「色和衣」が、古川町の円光寺で開かれました。

このイベントは、「飛騨古川を日本一着物が似合う町」を目指す地元の有志らが企画し、今年で5年目。

夕方から円光寺境内で縁日が行われ、地元のバンド演奏に続いて、浴衣のファッションショーなどが行われ、観客たちは色とりどりの浴衣姿を着たモデルたちの幻想的な光景に目を奪われていました。

また、この日は市内金融機関や市役所の職員らも浴衣姿で勤務し、着物が似合う町を一層盛り上げていました。



浴衣ファッションショーのモデルの皆さん

企 飛騨市企業間交流が開催 業のさらなる活性化へ

8月3日（水） 古川町公民館（総合会館）

市内の事業所に勤める中堅職員を対象とした企業間交流会が古川町公民館で開かれ、市内 29 事業の 53 人が参加しました。

企業間交流会は、他の事業所との情報交換や人脈の拡大を通して、企業の活性化を図ることを目的として市が企画し、今年で4年目。

この日は、都竹淳也市長を講師に招き「人を育てる組織づくり」をテーマに、上司の役割などを話したほか、フラフープを使った「ヘリウムリング」でチームワークについて考えるゲームを行うなど、企業間の交流を深めました。



ヘリウムリングを行う参加者



人 吉城高校でサイエンス教室 の目のしくみ学ぶ

8月9日（火） 吉城高等学校

吉城高校の生徒が先生役になり、理科の実験を通して同校の魅力を伝える「サイエンス教室」が、同校の理科実験室で行われました。

この日は、市内の小学生 27 人が参加。「目ってなんだろう」というテーマに、光の三原色（赤、青、黄）のLEDを使った実験や、眼球の模型を作成するなど、目の動きや構造について学びました。

参加した児童は「実験が楽しかった」「目のしくみが知れて良かった」と話していました。また、先生役の生徒は「人に物を教える難しさを実感した。良い子ばかりで助かりました」と話していました。



児童に説明する高校生

飛 自然を楽しみ、飛騨を味わう 騨清流みやがわ鮎釣り大会が初開催

8月6日（土） 宮川町

鮎釣りの腕前を競う「飛騨清流みやがわ鮎釣り大会」が宮川町の宮川河川で初めて開かれ、県内外の 10 組 20 人が参加しました。

大会は、2人1組のチーム制で行われ、チームで時間内に友釣りでも釣り上げた匹数で順位を争いました。

結果は、高山市の竹原由紀子さんと向田和博さんのチーム「へっぽこクラブ」が計 30 匹の鮎を釣り上げ優勝しました。

大会後には、宮川の鮎に惚れ込み移住した鮎釣り名人の室田正さんとの交流会が行われ、参加者たちは、鮎の塩焼きや飛騨牛など、飛騨の味覚を楽しみました。



鮎を釣り上げる参加者

古 キャリア教育で郷土愛を育む 川中学校が企業訪問

8月17日（水） 古川町内

古川中学校の生徒が製造系企業の技術力やその「ものづくりへのこだわり」などを学ぶため、市内の製造企業を訪れました。

この取り組みは、学校が進める特色ある教育「リサーチ The 愛郷心 2016」の一環で、企業訪問を通して、地元企業の技術力やものづくりへのこだわりに触れ、郷土への誇りと愛着も持ってもらうと企画されました。

この日は、希望者7人が参加し、木工や薬品メーカーなど4社を訪問しました。このうち柏木工古川工場では、ドアなどの受注生産を主に受け、工場長から会社の説明を受けた後、工場内を見学しました。



担当者から説明を受ける生徒

ふ 飛騨市の魅力を市内外へ発信 るさとこども大使に児童30人を任命

8月8日（月） 市内

市内の子どもたちにふるさとの伝統文化や自然等をPRしてもらおうと市内の名所を巡るバスツアー「ふるさと講座」が行われました。

この日は、市内の小学4～6年生 30 人が参加。河合町で山中和紙の紙すき体験、宮川町の種蔵地区や神岡町の宙ドームの見学、古川町の匠文化館で飛騨の匠を学び、ツアー終了後に市役所でこども大使の任命式が行われました。

任命式では、都竹市長が児童に山中和紙で作られた任命証と児童の名前が書かれた名刺を手渡し、「飛騨市の良いところに気づいてたくさんの人にPRしてほしい」と激励しました。



都竹市長から任命証を受け取る児童



Aコース(1万円～2万円未満)
飛騨産えごまの健康土産セット1



飛騨の特産お土産セットのコースもあります



小島さんが企画から携わる「飛騨えごま煎餅」



第5回 (株)飛騨企画販売

TEL 0577-57-9111



代表取締役
小島 邦彦さん

このコーナーでは「ふるさと納税(ふるさと応援寄付金)」のお礼の品や店舗を紹介します。就職、通学、結婚等で飛騨市外に在住の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

※飛騨市をPRする観点から特産品のお返しは市外に住民票のある方に限らせていただきます

※詳しくはホームページをご確認ください

<http://www.city.hida.gifu.jp/>



特産品である「えごま」を使用した商品や、地元の土から生まれた「土産」、飛騨にしか無いものなど、様々な商品を取り扱っています。また、販売だけでなく、商品の企画も行っています。

新商品開発のために、工場を見学させてもらったり、担当者との意見交換などを、納得するまで行います。商品の方向性やデザイン、商品名などちよっとしたことで売上が変わるのので、商品の企画は大変ですがやりがいがあります。

今後は全国的に浸透してきたえごまや、飛騨というブランドを大切に、飛騨市をPRしながら、商品の企画・販売を行っていきたいと思います。

人口の動き(9月1日現在 住民登録人口)

男	女	計	世帯数
12,148	13,076	25,224	8,906
出生	12	転入	34
死亡	33	転出	38

消防の状況(8月31日現在)

	火災	救急
飛騨市	5	735
その他(管外出動)	0	7
前月比	1	106

交通事故の状況(8月31日現在)

	人身交通事故			物 損 交通事故
	件数	死者	傷者	
累計	18	0	29	319
昨年	11	1	12	375
増減	7	-1	17	-56

飛騨警察署管内(平成28年1月1日からの累計)
※人身事故件数、負傷者数、物損事故件数は速報値